

23. 10. 31

佐倉市

教育センターだより Vol. 25

平成23年10月31日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043(486)2400 <http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm>

## 日本の底力、すばらしさを伝えよう

所長 橋 口 明 夫

雲の形が変わり、空の青さが深みをまし季節の移り変わりを感じます。日本人は昔から自然のわずかな変化を感じとり、細かい観察眼と感性を身につけてきました。雨や雪を例にとっても、その時の状況によって名称の呼び方がたくさんあるのは、みなさんご存じのとおりです。また、気温や湿度の状態により微妙に変化する木材や金属の性質を見抜き、精密な物造りをする日本の匠の技は外国からも絶賛されているところです。

そして、日本人の勤勉さや誠実性も世界に誇れるものです。さらに、東日本大震災時に世界を驚かせたのは、東北の人たちの冷静さを見失わない集団的な道徳性の高さでした。子どもたちにも是非伝えていきたいもののひとつです。

子どもは大人の背中を見て育つといわれます。われわれ大人は、子どもたちのお手本、あこがれの存在でなくてはなりません。子どもに「生きることの楽しさ」や「将来の夢」をいだかせる役割があります。ですから、大人として、子どもの頃の「わくわくする気持ち」を言葉にしたり、「チャレンジする勇気」や「公平に接する態度」などの行動の範を示したりして、大人としての底力を見せていきましょう。

日本はこれまでに、たくさんの困難を乗り越えてきました。学校と家庭そして地域が連携し、子どもたちに、日本の優れた文化や技術、美しい自然に誇りをもたせ、明るい未来を築く力を伝えたいものです。教育を通じて子どもたちの心にまいた創造性の種が、しっかりと根をはり、美しい花を咲かせ、大きな実をつけ、社会を大きく前進させる、そんな姿に思いを馳せ、今日も美しい日本の秋の空を見上げています。

# ～道徳教育の充実をめざして～

佐倉学道徳副読本『佐倉の道徳』の活用

新学習指導要領において、「道徳教育の充実」が教育内容の改善のひとつに挙げられています。『指導計画の作成と内容の取扱い』では、「先人の伝記と文化、スポーツなどを題材とし、児童・生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、児童・生徒の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと」と記載されました。

佐倉市教育委員会では、平成19年度より「佐倉学道徳副読本作成委員会」を立ち上げ、郷土の先覚者を教材とした道徳資料の作成を進めてきました。そして、昨年度末に「小学校版」「中学校版」を刊行し市内小中学校全校に配付したところです。千葉県の教育振興基本計画でも道徳性を高めることが求められており、学校現場に求められている実践の中で活用できる資料と考えています。ここに、概要を紹介いたします。

## ○本書で取り上げた人物と主題名・概要



	人物名	主題名・内容項目	資料の概要
小学校	津田梅子	最後までやりぬく 1 - (2)	わずか7才で日本初の女子留学生として渡米したことや日本での女子教育の普及に尽力したことを取り上げている。
	堀田正倫	郷土の人のために 4 - (5)	ふるさと佐倉のために私財を投じて農事試験場の設立、佐倉中学校の整備、士族商法の支援を行ったことを取り上げている。
	佐藤泰然	みんなのために 4 - (2)	順天堂を開き、多くの病人を治療したこと、麻酔なしの外科手術、種痘接種等佐倉の人々のために尽力したことを取り上げている。
	津田 仙	新しい方法を取り入れ 未来をひらく 1 - (5)	西洋野菜を日本で初めて栽培し、日本に広めた業績を中心に取り上げている。
	西村茂樹	希望をもって生きる 1 - (2)	重い眼病にかかってもくじけず、熱心に勉強し、外国のことについて詳しい学者となったことを中心に取り上げている。
	浅井 忠	夢に向かって 1 - (6)	武士出身だが、様々な勉強を経て西洋画の道を極めた。西洋画が認められない時代に人々を感動させる絵で力を認められたことを中心に取り上げている。
中学校	堀田正睦	郷土を愛し、郷土に 尽くす 4 - (8)	佐倉藩のために様々な改革を行ったこと、天然痘の流行を抑えるための種痘のすすめなど郷土のために尽くしたことを取り上げている。
	西村茂樹	国を愛する心 4 - (9)	熱心な勉強で外国に詳しい学者になり、外国から新しいものを取り入れるだけでなく日本の長所を伸ばし短所を改めるように外国から学ぶことを説いたことを取り上げている。
	西村勝三	高い目標 1 - (2)	商人として多くの失敗をしながらも徐々に力をつけ、革靴や耐火煉瓦の製造に粘り強く取り組んだことを取り上げている。

## ○活用の方法

各学校には、副読本の他に、板書用掲示資料1セットと指導案&ワークシート集を配付してあります。

### 【板書用掲示資料】

#### ◆各人物肖像画（全ての読み物資料）[B4版]

《小学校用》 6枚

《中学校用》 3枚

#### ◆場面絵（副読本の挿し絵と同一）

##### 《小学校用》

[津田梅子]→3枚「船上の梅子」「勉学に励む梅子」「教壇に立つ梅子」

[堀田正倫]→2枚「苦しむ農民」「収穫を喜ぶ農民」

[佐藤泰然]→2枚「順天堂記念館(写真)」「順天堂の手術の様子(想像図)」

[西村茂樹]→2枚「眼病に苦しむ茂樹」「勉学に励む茂樹」

[浅井 忠]→1枚「作品『収穫』」

##### 《中学校用》

[西村茂樹]→1枚「黒船来航」



挿絵・写真と同じ掲示用板書資料  
[A3版]



### 【指導案&ワークシート集】

#### 《指導案掲載項目》

- ・ねらい
- ・主題と資料との関連
- ・資料について…概要、活用上の留意点
- ・展開の大要
- ・板書計画

#### 《ワークシート》

- ・主に終末段階で児童生徒に書き込ませるワークシート

掲載している指導案は、それぞれの資料について、対象学年を想定して作成してあります。(前頁参照)指導案通りに授業展開しても、実態に応じてアレンジしても構いません。

## ○副読本の活用に向けてのお願い

学習指導要領が改訂され、時数が増え教科書が厚くなり…と学校現場は多忙を極めています。

この副読本を道徳教育の推進に有効活用いただくためにも、次の3点のお願いをいたします。

- ↓
- ・副読本や関係資料について、校内での共通理解をお願いします。
  - ・道徳教育推進教師や佐倉学担当職員の積極的な実践をお願いします。
  - ・実態に応じて、副読本を活用した授業を年間指導計画へ位置づけるようお願いします。

# 夏の研修講座から

今年の夏も、多くの研修講座で先生方が研鑽を積まれました。教育センターでは、教育相談の理論と技法の修得、そして児童生徒のもつさまざまな問題解決に向けた指導力の育成を目指し、毎年「教育相談基礎講座」を開講しています。先生方が現在抱えている課題の解決や指導力の向上を目指し、今年度は30名の先生方が受講されました。

## 講師の先生方

「教育相談の意義」	千葉大学客員教授	滝本信行先生
「ミニカウンセリング」の理論と実践」	佐倉市立南志津小学校長	杉本勉先生
「構成的グループ エンカウンターの理論と実践」	佐倉市立弥富小学校長	山本昌弘先生
「インシデントア ハスによる事例研究」	佐倉市立井野中学校教諭	根本栄治先生
「不登校児童生徒の理解と対応」	佐倉市教育委員会指導課	成田公敏指導主事
「特別な教育的ニーズを持つ子どもの理解と支援」	同上	山本健太指導主事
「問題行動の理解と対応」	同上	相蘇重晴指導主事
「発達段階から見た児童生徒理解」	佐倉市教育センター	学校教育相談員 滝口直美

## 【研修の様子から】



グループの話し合いが進み、複数の視点から考えをつなげて深めていきました。同じ志をもつ仲間との意見交換の場は貴重です。



エンカウンターの実践です。実際に体を動かしてみると、心と体がつながっていることがよくわかります。

理論についての研修を深めています。話を聞いたり、ノートを取ったりしていると、授業の時の子どもの気持ちが実感できたり・・・?



【受講生の声から】教育相談の必要性を感じつつ専門的な話を聞く機会がなかったので、今回聴講できて勉強になりました。

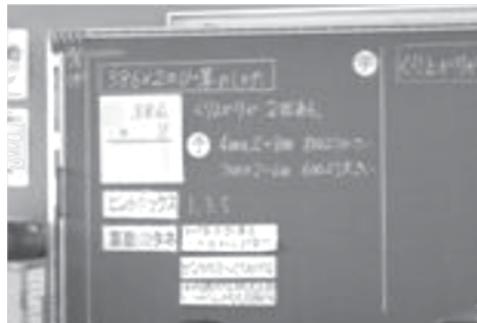
# “さくら”学びの窓

今回は、市内小学校3校で予定されている公開研究会について紹介いたします。限られた紙面の中ではございますが、研究内容について参考となる情報を掲載いたします。

自分の考えを持ち、意欲的に学習に取り組む児童の育成  
～算数科の学習を通して 校訓「進取の心」を培う～ 佐倉市立根郷小学校

## 【研究内容】

根郷小学校では、昨年度から佐倉市教育委員会より研究モデル校「校訓等を生かした教育、思考力を高める学習指導」について研究を進めてきました。算数のタネ（既習事項）を授業の中で生かし、課題解決では、ヒントボックス（解決方略）の手立てを見いだし、自力解決していく授業を実践しています。自分の考え（解決の見通し）を持たせ、算数的活動の充実を図り、自力解決したことを伝え合う活動から、意欲的に取り組む児童を育成しています。



日 時 平成23年11月16日（水）13：10～16：25

夢をもち、自己を見つめて行動し、共に学び合う児童の育成  
《思う力・求める力・関わる力の育成》

佐倉市立佐倉東小学校

## 【研究内容】

佐倉東小学校では、平成21年度より佐倉市教育委員会のモデル校の指定を受け、研究に取り組んできました。本校では、キャリア教育の定義を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、思う力・求める力・関わる力を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、授業実践をしています。また、キャリア発達を児童の実態を踏まえて「自己形成（自分のこと）」「関係形成（人とのつながり・関わり）」と位置付け、お互いの良さを認め合い、自分らしさを發揮し、自信を持って行動できる児童を育成しています。



日 時 平成23年11月18日（金）13：00～16：30

表現力を高め、生き生きと伝え合うことのできる子の育成をめざして

佐倉市立西志津小学校

## 【研究内容】

西志津小学校では、昨年度から佐倉市教育委員会のモデル校の指定を受け、研究に取り組んできました。「表現力」を単に「話す力」だけではなく、①相手の伝えたいことを受け止め、自分の想いを伝える力②いろいろな言語を活用する力③言葉が醸し出す味わいをとらえる力とし、さらに、「話す力」「聞く力」「書く力」「読む力」「感じ取る力」の5つで構成されていると考え授業実践してきました。一人一人の児童が言語の主体的な使い手としてお互いの立場を尊重し、自分の考えや想いを進んで伝え合うことができる児童を育成しています。



日 時 平成23年12月1日（木）13：00～16：10

# 佐倉市教育センター 資料室活用にむけて…

教育センターには、佐倉市の学校教育や歴史に関する資料等を閲覧できる資料室があります。年々蔵書の数も増え、充実した資料室となっていました。

平成23年10月現在、約6000冊の蔵書と教育関係の小冊子が保管されています。小・中学校からの「教材研究」や「佐倉学」等を目的とした資料の貸し出し希望、一般の方からの閲覧希望があり、資料室の利用も少しずつ増えてきています。



## 学習指導案の活用



各学校において作成された学習指導案や、研究紀要の収集・管理にも努めています。

過去の研究実績の収集はもちろんのこと、昨年～今年度といった最新の指導案についてもデータベース化を進めています。

教科・領域に分類し、貸し出せるようにしてありますので、ぜひ先生方のより一層の活用をお願いしたいと思います。

## 教科書の貸出について

今年度の小学校に引き続き、来年度からいよいよ、中学校新学習指導要領完全実施です。24年度の中学校使用教科書の貸出を行っています。

学校1セットを単位として、1回の貸出期間は2週間です。学校ごとに対応させていただきますので、校内で取りまとめのうえご連絡をお願いします。

資料貸出のお問い合わせは教育センター  
(486-2400担当:水嶋)まで



## 編集後記

秋も深まり、各学校の研究の集大成である公開研究会の開催が目白押しとなっていました。全ての学校のご案内を載せたいところですが、紙面の都合で3校のみを紹介させていただきました。参観予定の先生方には、公開研究会で得たことを、自校に広めることで、佐倉の教育力向上に努めていただければと思います。